



# 希望の花

鶴ヶ島市立西中学校  
学校便り No.9  
令和8年1月29日  
文責 校長・真武公司

2年生が修学旅行に行ってきました。行く先々で修学旅行の中学生に出会い、この時期の実施校が増えたなと感じました。2年生の冬の修学旅行は県内でも西部地区がほとんどだったのですが、今年は県内の南部地区や都内の中学校も見かけました。西中の2年生は「楽学両道 ～日本の歴史に触れ楽しい思い出をつくろう～」のスローガンの下、大きな成果を上げて学校に戻ってきました。「おっ!! 2年生、修学旅行終わって変わったな」との声があちこちから聞こえてくるのを楽しみにしています。



「京都の冬がこうだと思ってもらっては困る」と京都人から言われるほど、穏やかな1日目、2日目でした。3日目は北風に変わり、時折粉雪が舞ってきました。そして、この最強・最長の寒波襲来です。昨年うちにインフルエンザが流行していたおかげか、修学旅行中は保健室要らずでしたし、1・3年生も元気に過ごせています。3年生は、県内私立高校の入試が一段落し、県公立高校の電子出願の準備が始まっています。全員の進路先が決定するまで、学校をあげて応援していきたいと思います。



## 学力低下の背景

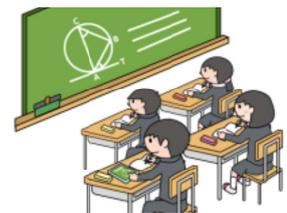
### 消えた「昭和・平成世代には当たり前の習慣」

文部科学省の全国学力・学習状況調査結果において、子どもたちの基礎的な学力の低下傾向が顕著に見られるとの報道がありました。文科省は「経年変化分析調査」を実施しており、小学6年生と中学3年生を対象に学力と学習意識を追跡していますが、その結果、2024年度の平均スコアは2021年度よりもかなり低下しており、とくに小6の国語・算数、中3の国語・英語で基準年比のスコアが低下しています。国語・算数(数学)で「思考・判断・表現」に関する設問の正答率が下がっていることも報告されています。西岡孝誠氏(自伝的小説「それでも僕は東大に合格したかった一偏差値35からの大逆転」の著者)の要因分析に興味をもちました。その概要をまとめてみました。

「最近の生徒は、メモを取らない」

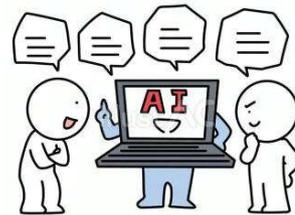
教員も板書を写す時間を短縮し、効率的に授業を進めるための工夫として、スライド資料を印刷して配付することも多くなった。一見、生徒にとっては「親切」で「便利」に見えるが、そこには落とし穴がある。以前の授業では、黒板に書かれた内容を「先生が消す前に書ききらなければならない」という緊張感をもってノートに書き取っていた。その「書き取る」という行為は、頭を使って情報を整理し、自分なりに理解する過程そのものである。ところが今では、「資料をもらえるから書かなくてもいい」「後で見返せばいい」と考える生徒が増え、結果としてメモを取る習慣そのものが消えつつある。

メモを取るというのは、単なる記録ではなく「思考のプロセス」を外に出す行為である。書くこと



で頭の中が整理され、「分かったつもり」を防ぐ。それが学習の基本動作だった。しかし今は、その大切な「プロセス」が失われつつあるのかも知れない。

この「後からいい」という感覚は、他の学習場面にも広がっている。授業中に先生の説明を聞き逃しても、「ChatGPTに訊けばいい」「アプリで数式を撮影すれば答えが出る」と思う生徒が増えてきている。実際、AIツールの進化によって、かなりの問題の答えがすぐに出せるようになってきた。もちろん、デジタルツールを活用すること自体は悪いことではなく、情報検索力やデジタルリテラシーは、これからの時代に必要なスキルである。問題は「ツールに頼りすぎる思考習慣」ができてしまうこと。



英語で「授業を受ける」は take a class。日本語では「受ける」という受動的な言葉であるが、英語では「take（取る）」という能動的な表現になる。「受ける」という日本語の表現だと、「勉強＝やらされるもの」という意味合いも強く、「宿題をやらなきゃ」「テスト勉強しなきゃ」といった「義務」の意識が強くなりがちで、勉強を自ら「取りに行く」という発想が育ちにくい。学ぶというのは本来、自分の手で知識などをつかみ取る行為である。「take」の方が学びの本質に近い。勉強とは「受け身」ではなく「取りに行く」姿勢でなければならない。親御さんをお願いしたいのは、「今日の授業、どんなことを学んだの？」という質問を大切にしてほしいということ。その一言が、子どもの「説明する力」を引き出し、学びを自分のものにするきっかけになる。

便利な時代だからこそ、学びの主語を「自分」にする教育が、これからの子どもたちの未来を支えるカギになるだろう。

自分自身を振り返って、研修会等に参加しても「あのパワポの資料がデータで欲しいな」と思ったり、板書をスマホで撮ったり…。話をする立場のときは、だいたいパワポの資料を事前や事後に紙で配ることにしています。

アナログで、脳を鍛えることの大事さを改めて考えさせられました。まだまだこれから脳が発達していく子どもにとっては、なおさらのことなのだと思います。教育先進国とされているフィンランドでは、デジタル教科書から紙の教科書へ再転換が図られています。

## お知らせ

### ◎第4回 学校運営協議会

日時：令和8年2月12日（木） 14：30～

場所：西中学校 会議室



※会議は原則公開となります。傍聴を希望する方は、後日、本校ホームページ「学校運営協議会」の欄をご覧ください。

## 2・3月行事予定

1日(月) 1・2年 実力テスト  
3日(火) 学校朝会  
4日(水) 専門委員会  
12日(木) 学校運営協議会  
13日(金) 小中連絡会 5時間授業  
16日(月) 3年学年末テスト(～17日)  
18日(水) 県公立高校入試志願先変更(～19日)  
あいさつ運動  
21日(土) テスト前諸活動停止期間開始  
26日(木) 1・2年学年末テスト(～27日)  
県公立高校入試 学力検査

27日(金) 県公立高校入試 実技検査・面接

### 3月

3日(火) 学校朝会 県公立高校入試追検査  
4日(水) 専門委員会 中央委員会  
5日(金) 県公立高校入試 入学候補者発表  
6日(土) 3年生を送る会(弁当なし)  
1・2年生保護者会  
9日(月) 振替休業日  
11日(水) 卒業式予行  
13日(金) 第41回卒業式  
26日(木) 修了式